

---

## 1306. 入港届等（内航船）

---

業務コード	内 容
J I T	入港届等（内航船）

## 1. 業務概要

当該港入港後、入港確定情報を登録する。  
届出先の官庁は選択することも可能とする。  
登録、訂正及び取消しを可能とする。

港長または港湾管理者への入港届提出の旨が入力された場合は、入港届を送信する。  
港長または港湾管理者への入出港届提出の旨が入力された場合は、入出港届の送信も可能とする。

## 2. 入力者

船会社、船舶代理店

## 3. 制限事項

1入港届等に対する訂正は、最大99回とする。

## 4. 入力条件

### (1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②訂正または取消しの場合は、登録者と同一であること。

### (2) 入力項目チェック

#### (A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

#### (B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

### (3) 入港届（内航船）DBチェック

#### (A) 訂正の場合

- ①入力された入港届提出番号に対する入港届等情報がシステムに存在すること。
- ②入力者は入港届等の登録を行った利用者と同一であること。
- ③船舶コード及び入港港コードが変更されていないこと。
- ④最新の入港届提出番号であること。

#### (B) 取消しの場合

- ①入力された入港届提出番号に対する入港届等情報がシステムに存在すること。
- ②入力者は入港届等の登録を行った利用者と同一であること。
- ③最新の入港届提出番号であること。

## 5. 処理内容

### (1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。

(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照)

### (2) 入港届提出番号の払出し処理

#### (A) 登録の場合

入港届提出番号をシステムで払い出す。

(B) 訂正の場合

入港届提出番号に対する枝番をシステムで払い出す。

(3) 宛先判定処理

届出の旨が入力された官庁を宛先とする。

(4) 入港届（内航船）DB処理

(A) 登録の場合

①システムで払い出された入港届提出番号に対する入港届（内航船）DBを作成する。

②入力された内容を登録する。

(B) 訂正の場合

①システムで払い出された入港届提出番号に対する入港届（内航船）DBを作成する。

②入力された内容を登録する。

(C) 取消しの場合

①入力された入港届提出番号に対する入港届（内航船）DBを更新する。

②当該情報の取消しが行われた旨を登録する。なお、宛先毎の取消しを可能とする。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者

7. 特記事項

(1) NACCSから関連省庁システムに情報を送信する際に、NACCSと関連省庁システム間で障害等を検出した場合は、処理結果通知にエラーを出力する。

(2) 港湾管理者への入港届の場合は、「入港届情報」を送信する。

(3) 港湾管理者への入出港届の場合は、「入出港届情報」を送信する。

(4) 港長への入港届の場合は、「入港届情報」を送信する。

(5) 港長への入出港届の場合は、「入出港届情報」を送信する。

(6) 「入港届等呼出し（内航船）（JIT11）」業務により、船舶基本情報登録（内航船）業務によって登録された内容を呼出した上で、入港届情報の登録を可能とする。